

授業科目 放射線医学

【担当教員名】 日向 浩	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

がん治療3本柱は手術，放射線，抗がん剤である。切らずに治す放射線治療は，体に対する負担も少なく又，QOLの面でも重要度は増している。放射線治療を行うための装置，方法，治療効果等について学び，看護について必要な知識を得んものとする。さらに，癌の診断に必要な不可欠な最新の診断機器について講義する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 外部照射，小線源治療の違い，治療体積の概念を理解する
2. 放射線治療に対し，患者はどのような知識を必要とし，又不安を持っているかを理解する
3. 各種のがんに対する放射線治療の効果，副作用について理解を深める
4. 放射線を使った診断装置について知識を深める

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	放射線治療の基礎（期待される放射線治療，チーム医療）		
2	放射線治療における患者からのQ&A		
3	頭頸癌の治療・看護		
4	肺，縦隔の治療・看護		
5	乳がん，子宮ガンの治療・看護		
6	その他の癌の治療・看護		
7	各種放射線診断装置		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 課題レポート，出席状況により評価	【履修上の留意点】
----------------------------	-----------